

**問 周知努力を**

**答 早急に説明していい**

川上

町の社会資源を有効活用した支援事業を開始しているが、特に地域で活動する民生委員に説明するなどの周知努力に欠けているのではないか。

今橋健康福祉課長

広報には掲載したが詳しくは説明していない。

池田町長

確かに広報のみで十分な周知とは言い難い。各団体に早急に制度の説明を行っていく。

**問 高齢者福祉の今後は**

**答 独自の福祉施策を展開**

川上

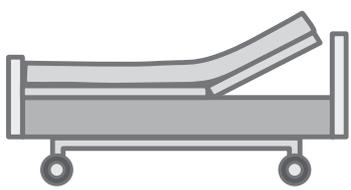
健康で安心な福祉のまちづくりを政策目標に掲げてきたが、今後高齢者福祉について各団体との連携を図り共通認識のもと推進していくのか。

池田町長

課題ごとに解決すべく情報交換を行っていくべきと考える。それに対し指導を徹底し、しっかりとコーディネートしながら独自の福祉施策を展開していきたい。



ショートステイ居室



**津野町在宅高齢者生活支援短期宿泊事業**

養護老人ホーム高原荘に一時的に宿泊することで生活習慣等の習得や体調維持、心身機能の向上等を図ることを目的とします。

対象者は、おおむね65歳以上で介護認定を受けていない方。例えば、冠婚葬祭などの事情により一時的に養護を必要とする方や病院退院後、在宅に戻るまでの一時慣らしが必要な方など。

- その他の質問
- Q どう考える「在宅みとり」
- A 広域的な視点で
- Q 在宅介護・地域医療の現状と課題
- A 対応するには限界があるのが現状